



当社陸上競技部の選手2名が パリ五輪代表権獲得を懸けて MGCに出場

パリ五輪マラソン日本代表選考競技会を兼ねる競技大会「MGC(マラソングランドチャンピオンシップ)」が、2023年10月15日(日)に東京で開催されます。当社陸上競技部からは、この大会に、2021年12月の福岡国際マラソンを2位(日本人トップ)でゴールした細谷 恭平(27)と、今年2月の大阪マラソン2023を2時間07分55秒で走破した土井 大輔(26)が出場いたします。

MGCで1位および2位となった選手は、パリ五輪のマラソン日本代表に内定いたします。

当社陸上競技部の選手がパリ五輪の舞台で日の丸を背負って戦えるよう、皆さまの熱いご声援をよろしくお願いいたします。



細谷 恭平 選手(主将)
【自己新記録:2時間06分35秒】



土井 大輔 選手
【自己新記録:2時間07分55秒】

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
剰余金の配当の基準日	○期末配当実施の場合……3月31日 ○中間配当実施の場合……9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.krosaki.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京(プライム)・福岡
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
照会先	☎0120-782-031 受付時間/土・日・祝日を除く 9:00~17:00 インターネットホームページURL https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

■株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記のお問合せ先にご連絡ください。

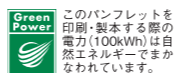
■特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、日本証券代行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しています。

お問合せ先 **☎0120-707-843**
(受付時間/土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)

黒崎播磨株式会社 (証券コード:5352)
〒806-8586 北九州市八幡西区東浜町1番1号

URL:<https://www.krosaki.co.jp/>
TEL.093-622-7224
FAX.093-622-7200



このパンフレットを印刷・製本する際の電力(100kWh)は自然エネルギーでまかなわれています。



このパンフレットは植物油インクを使用しています。

株主のみなさまへ

第132期のご報告

2022年4月1日から2023年3月31日まで

ごあいさつ

代表取締役社長

江川 和宏



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの当期経営成績は、主要顧客である鉄鋼業界の粗鋼生産量が一部地域を除き国内外ともに減少したことに加え、ウクライナ問題や急激な円安進行等を背景とした原料・調達品・エネルギー価格の高騰等によるコスト増に直面する中、生産性向上・製造原価低減に加え、営業マージンの改善、堅調なインド鉄鋼市場における事業拡大、及び非鉄分野向け拡販等により、売上高・利益ともに過去最高を達成いたしました。これも株主のみなさまのご支援のお陰と深く感謝申し上げます。

経営環境は、世界全体にわたる不安定な政治・経済動向を受け、先行きを見通し難い状況にあるものの、2025経営計画で掲げた各種施策の確実な実行、SDGsの取り組み深化、カーボンニュートラルへの弛まぬ歩みを通じ、更なる事業成長とサステナブルな社会づくりへの貢献を引き続き推進してまいります。

国内耐火物事業では、国内粗鋼生産規模、カーボンニュートラル対応に伴う鉄鋼生産設備・プロセスの構造的な変化を見極めつつ、当社設備の自動化・省力化を進めるとともに、DX推進、技術力を活かした新商品の市場投入等により競争力を更に高め、収益基盤を強固にしております。

海外耐火物事業では、更なる成長が確実視されるインド市場において確立した耐火物製品フルメニュー生産・販売体制の最大活用、需要の伸びを確実に取り込むための更なる生産能力増強を進めつつ、欧州・米州でのアライアンスパートナー企業との連携深化、材工一体体制を活かした非鉄分野を含む需要の確実な捕捉等により、一層のグローバル展開を推進します。

ファーンレス事業では、製鉄所内整備作業及び大型工事事業の受注とともに、バイオマス発電用ボイラ等、非鉄・環境炉ユーザー向けの新規案件やメンテナンス案件への対応を推進します。

セラミックス事業では、半導体製造装置・電子部品向け製品の受注拡大とともに、今後成長が見込める燃料電池向け断熱材、宇宙・医療等の新規分野向け製品等、多岐にわたる需要分野にきめ細かく対応することで、事業基盤の拡充を進めます。

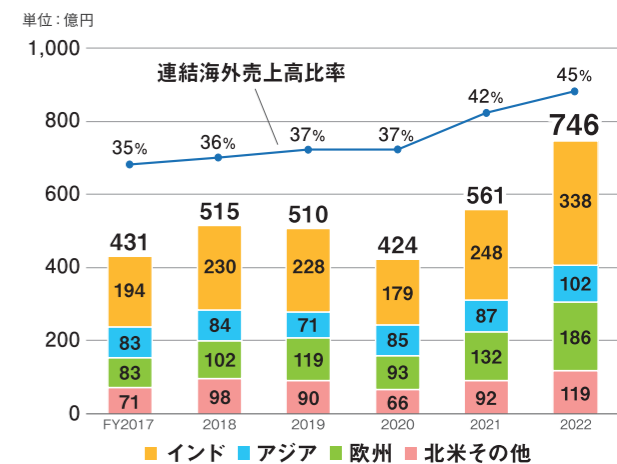
株主のみなさまにおかれましては、今後更なるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



海外売上高が更に伸長 過去最高の売上高・利益 達成に貢献

当社の2023年3月期連結売上高に占める海外売上高比率は45%に達しています。

成長著しいインド市場の売上高は、前年度比36%の増収となりました。既にインド鉄鋼メーカーの約50社と取引実績を持ち、トップクラスのシェアを誇ります。昨年確立した主要品種フルメニュー生産・販売体制を最大限活かし、更に成長してまいります。また欧州市場の売上高は、前年度比40%の増収となりました。アライアンスパートナー企業との連携深化による事業拡大や、スペイン製造販売子会社によるセメント・非鉄分野への拡販等が寄与しています。今後も地産地消を基本方針に、グローバルでの売上拡大を目指します。



※地域別売上高は四捨五入の関係上、合計値が総額と一致しないことがあります。

過去最高の売上高・利益を達成

売上高 **1,652.0** 億円

売上高

耐火物事業におけるコスト上昇分の着実な販売価格転嫁及び国内外での事業拡大、ファーンレス事業における大型工事案件の受注等により、売上高は、前年同期に比べ23.5%増収の1,652億2百万円となりました。

営業利益 **111.7** 億円

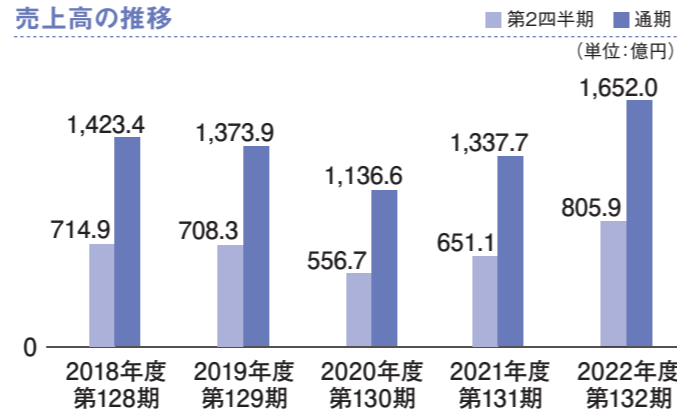
経常利益 **120.8** 億円

親会社株主に帰属する当期純利益 **82.8** 億円

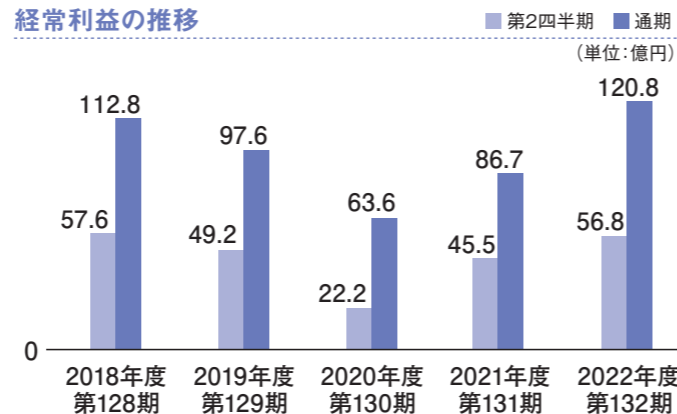
利益

売上高の増加に加え、生産性向上・製造原価低減の自助努力により、営業利益は、前年同期に比べ47.7%増益の111億73百万円、経常利益は、同39.2%増益の120億83百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、同50.8%増益の82億82百万円となりました。

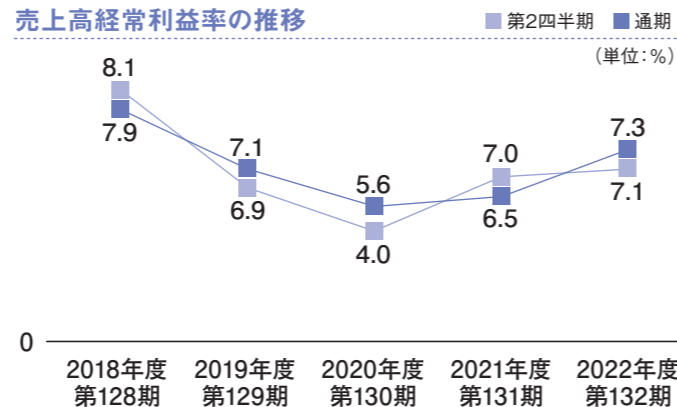
売上高の推移



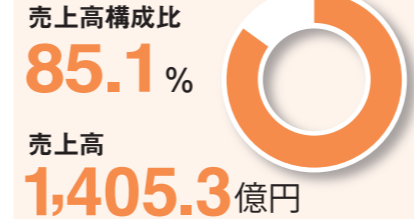
経常利益の推移



売上高経常利益率の推移



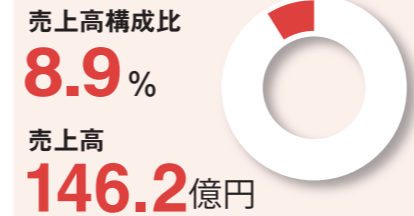
耐火物事業



着実な販売価格転嫁およびインド鉄鋼市場等での耐火物拡販により増収増益

国内外での原料価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁に加え、堅調なインド鉄鋼市場での事業拡大並びに非鉄分野向け拡販等に取り組んだ結果、売上高は、前年同期に比べ27.0%増収の1,405億38百万円、利益は、同64.2%増益の84億58百万円となりました。

ファーンレス事業



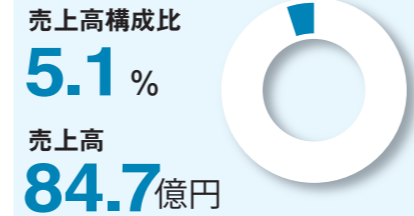
大型工事案件の受注およびコストダウン等により増収増益

粗鋼生産の減少に伴う鉄鋼製造設備整備作業の受注減があったものの、バイオマス発電用ボイラ案件を含む大型工事案件の受注とコストダウン等の推進により、売上高は、前年同期に比べ10.6%増収の146億27百万円、利益は、同51.1%増益の10億9百万円となりました。



プッシャー式ピレット連続加熱炉

セラミックス事業



電子部品向けセラミックス材料の受注減等により減収減益

顧客における需給調整に伴う電子部品向けセラミックス材料の受注減等により、売上高は、前年同期に比べ0.2%減収の84億71百万円、利益は、同5.5%減益の10億63百万円となりました。

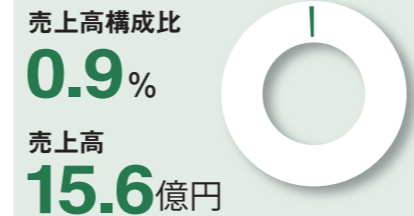


精密測定機器向けファインセラミックス



セラミックスを用いた薄型面状ヒーター

不動産事業、その他の事業



【不動産事業】

売上高は、前年同期に比べ横ばいの7億37百万円、利益は、同0.5%増益の5億95百万円となりました。

【その他の事業】

売上高は、前年同期に比べ23.7%増収の8億26百万円、利益は、同13.3%増益の40百万円となりました。



当社の賃貸物件